

印刷材料学 (2010年度)

東京大学 大学院農学生命科学研究科
生物材料科学専攻 製紙科学研究室

江前敏晴
えのまえ としはる

東京農工大学
岡山隆之 教授

講義の分担

4/ 12	江前	概説・抄紙	メディアの変遷、生産量、歴史、叩解、紙料調成
19	岡山	パルプ	パルプ化／リサイクル（詳細は未定）
26	岡山	パルプ	パルプ化／リサイクル（詳細は未定）
5/ 10	江前	抄紙・物性	薬品、抄紙、乾燥、カレンダ、紙の構造
17	岡山	パルプ	パルプ化／リサイクル（詳細は未定）
24	江前	研究の実際	大学院生による実験の話
31	江前	物性	サイズ度、吸水
6/ 7	岡山	パルプ	パルプ化／リサイクル（詳細は未定）
14	江前	紙加工	吸油特性塗工の基礎と応用、印刷適性
21	江前	画像解析	画像解析を利用した紙の特性評価
28	岡山	パルプ	パルプ化／リサイクル（詳細は未定）
7/ 5	岡山	パルプ	パルプ化／リサイクル（詳細は未定）
12	岡山	パルプ	パルプ化／リサイクル（詳細は未定）
26	江前	抄紙実習	実験1—抄紙、実験2—物性測定（2回分）
8/ 2		（休講）	

参考文献

■ 紙関係全般

- 紙とパルプの科学, 山内龍男著, 京都大学出版会 (2006)
- 紙の文化事典, 尾鍋史彦編集, 朝倉書店 (2006)
- 新しい紙の機能と工学, 門屋卓著, 蒙華房 (2001)
- トコトンやさしい紙の本, 小宮英俊著, 日刊工業新聞社 (2001)
- 紙・パルプの実際知識, 王子製紙編, 東洋経済新報社 (2001)
- パルプおよび紙, 大江礼三郎他著, 文永堂 (1991)
- 紙の基礎と印刷適性—構造・物性・加工・印刷品質評価, 江前敏晴著, 江前敏晴ホームページ(2006), <http://psl.fp.a.u-tokyo.ac.jp/hp/enomae/Paper%20Science%20seminar2/>

■ 紙関連の専門分野

- 木材の構造, 木材の化学, いずれも文永堂 (1985頃)
- セルロースの材料科学, 磯貝明著, 東京大学出版会 (2001)
- 最新紙のリサイクル100の知識, 王子製紙編, 東京書籍(1998)

印刷材料学の 講義用ホームページ

<http://psl.fp.a.u-tokyo.ac.jp/hp/enomae/chiba2009>

連絡用メールアドレス

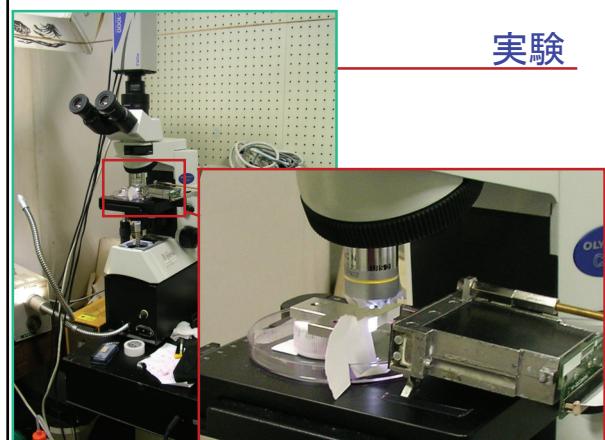
enomae@psl.fp.a.u-tokyo.ac.jp (江前敏晴)

- 自分のメールアドレスを江前まで連絡してください。
休講や実習の急な案内を出します。

江前の研究分野

- 微細構造制御によるペーパーエレクトロニクスの創出
- バイオミネラリゼーションを応用した有機/無機複合体(新規顔料)の開発
- 古文書の紙の纖維配向から見た手漉き法の推定と中世の紙の分類
- 海水を利用した水害被災紙文化財の緊急処置法開発

実験



実験 高速度ビデオ画像

試料: QP (写真画質紙)

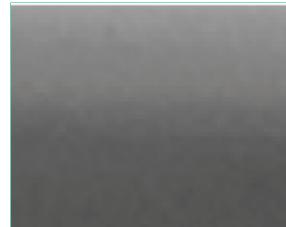
- 以下の形状パラメータの時間変化を計算した。

V: 体積

R: 接触円の半径

θ: 接触角

H: 高さ

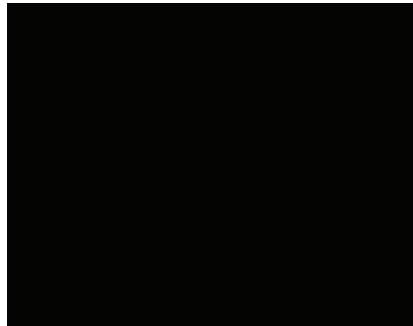


10 ms

Microscopic high-speed video



Flying micro-droplets of water



Different micro-droplets in flames

東京大学大学院農学生命科学研究科
2011年度大学院修士・博士課程学生募集
大学院受験ガイダンス日程

- 生物材料科学専攻オープンラボ
 - 2010年6月5日(土) 13:00~15:00
東京大学農学部セイホクギャラリー(東京メトロ南北線東大前)
〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1
Tel 03-5841-8199(江前)
 - <http://www.fp.a.u-tokyo.ac.jp/graduate/index.html>
 - 終了後研究室ツアー
- 修士課程出願7/12~16 試験8/18, 19 面接8/27
- この日以外でもいつでも見学可能です。

第1回 2010年4月11日

- 印刷と紙の概説
- 紙の起源
- 製紙技術の歴史と変遷
- 紙・パルプの生産量



グーテンベルグ
(1400年頃~1468年頃)

1445年頃に鉛合金の活字とアマニオイルを煮詰めた油性インク、ワイン絞り機にヒントを得た印刷用プレス機を発明した。



42行聖書を印刷し刊行

- 200部程度の聖書(42行聖書)を印刷し刊行した。
- 現代印刷技術の原型

紙との関係

- 紙の需要増大
- 紙の大量生産技術の発展
- 製紙原料としての木材利用開始
- 連続抄紙機の開発



過去二千年間で最も重要な発明

- 『米国の作家が、欧米の名だたる自然科学者らに「過去二千年間で最も重要な発明や発見は何か」と問い合わせ、ノーベル賞受賞者を含む百人以上がインターネットの電子会議室で論争を続いている。「老眼鏡」「消しゴム」など意表を突く見解も出て、議論は当分続きそうだ。ニューヨークの作家ジョン・ロックマン氏が主宰する電子会議室「エッジ」がその舞台。ノーベル物理学賞を受けた米フィリップ・アンダーソン博士ら**大勢が「印刷技術」を挙げた**。特権階級が独占していた知識を大衆に広めた功績が評価された。別の物理学者は「個人の感覚頼りだった時の経過を数量化した」という理由で「時計」を推す。…「地動説」や「数学」「微積分」のほか、「民主主義」「宗教」も有力だ。』
(朝日新聞1999年2月4日付け朝刊)

日本の古い印刷物

- 藤原仲麻呂の乱後の764年(奈良時代)に孝謙天皇が国家安泰を願い、「無垢淨光陀羅尼經」を100万枚印刷させ、これを木製の三重小塔100万基の中にそれぞれ納めて、法隆寺や東大寺など十大寺に分置した



世界最古の印刷物

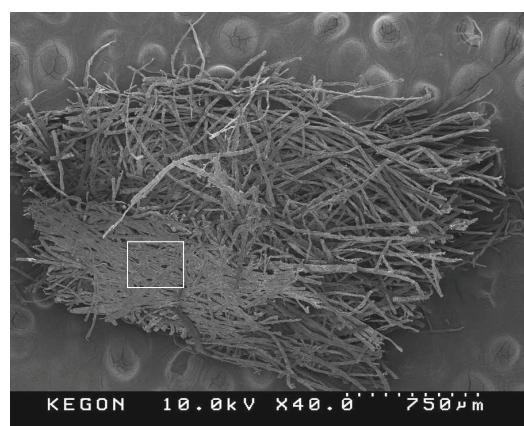
- 1966年に新羅(韓国)慶州の仏國寺の釈迦塔で見つかった無垢淨光陀羅尼經。釈迦塔創建の751年の印刷とされている。

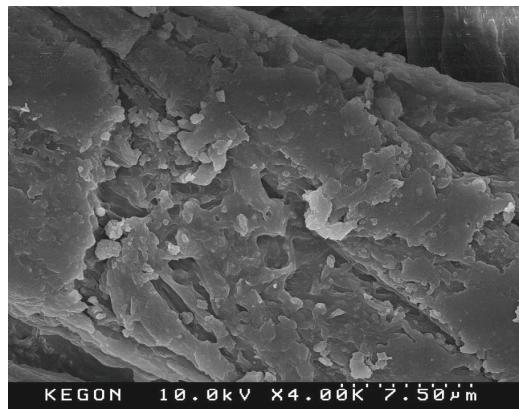
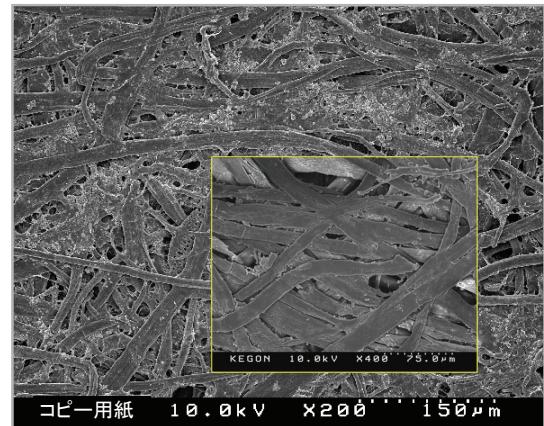
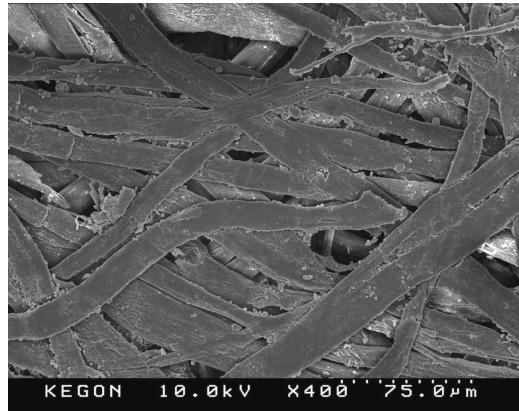


世界最古の印刷物

の紙と同時代の紙

- 755年に新羅時代の華嚴經が書かれた紙





一番影響を与えた人

- あるアメリカのインターネット上の投票で「現在まで自分に一番影響を与えた人」
- 第二位はイエス・キリスト。
- 第一位は蔡倫であった。
- 当然紙がなければ、出版技術も発達していないし、現在の比較的裕福な生活は保障されていなかつたであろう

紙の起源

- 紙は、一説には蔡倫なる人物が紀元105年頃に発明したと言われているが、実際には製紙法の改良、製紙法の確立者である。
- 当時蔡倫が紙作りに用いたのは、麻のボロきれや、樹皮、漁網(ぎょもう)などであった。



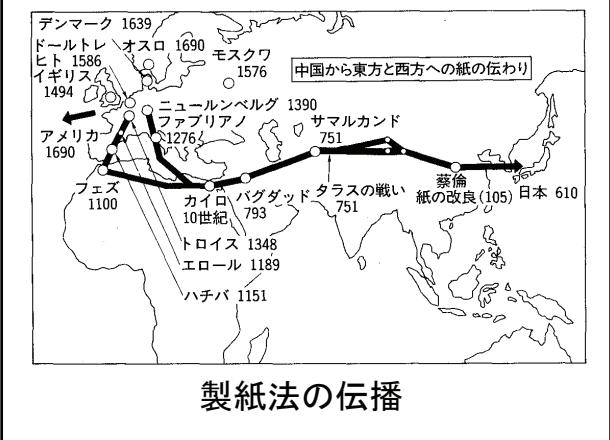
蔡倫

紙の起源

- 紀元前150年頃の世界最古の紙といわれている。
- 前漢時代の地図が書かれていた。



放馬灘(ほうばたん)紙



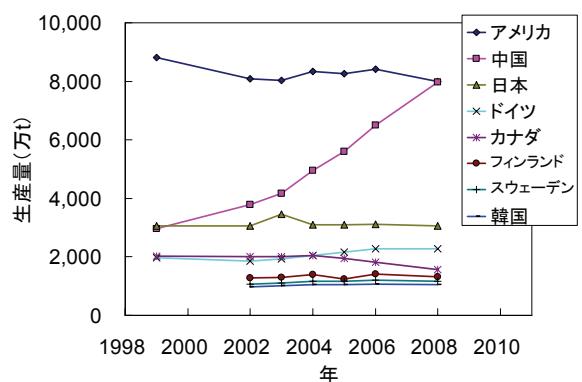
製紙技術の変遷-原料

- 麻 (大麻・亜麻)
 - 大麻は古代より中国・日本で布や網の材料。亜麻はヨーロッパで使用された。繊維は強靭で処理に手間。
- ポロ
 - 布のリサイクル。元の原料は麻、綿は産業革命期から。絹は書写材料として紙よりも古い歴史。屑は製紙原料。
- その他韌皮纖維 (麻も韌皮纖維である)
 - コウゾ、ガンビ、ミツマタ(江戸時代から)、
- 木材
 - 大量供給が可能
- ケナフ
 - 麻の一種。森林保護のために利用が進められた。
- プラスチック
 - ユポ。ポリプロピレンの合成紙。電子ペーパーのベース?

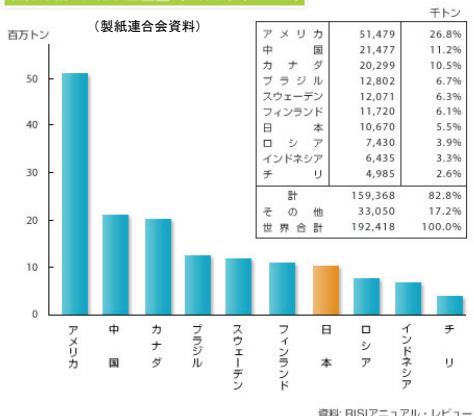
印刷メディアとしての紙

- 電子ペーパーと比較して -
- 携帯性
 - 軽量性
 - 容易な廃棄⇒リサイクル
- 手で書き込み可能
- 視認性

世界の紙・板紙生産量と消費量



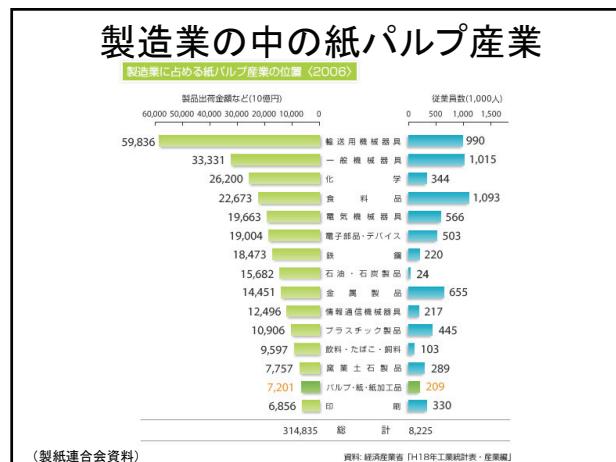
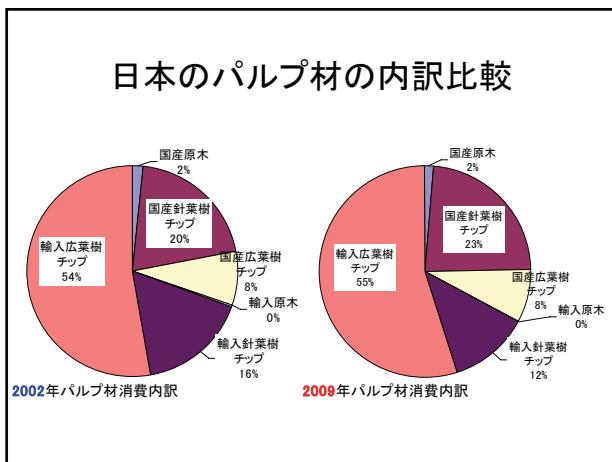
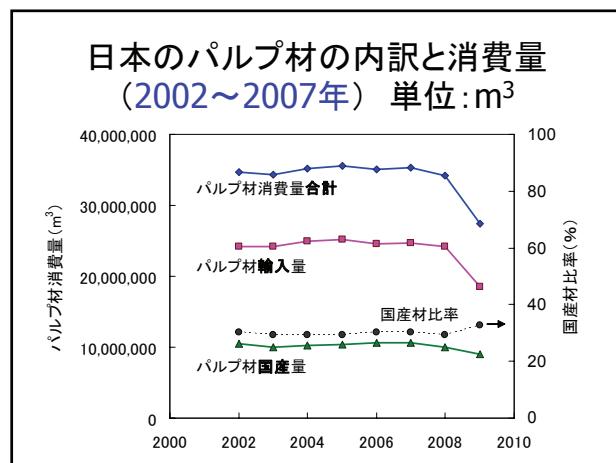
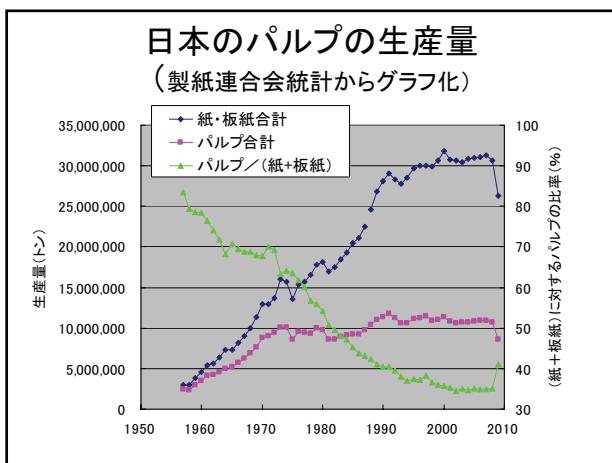
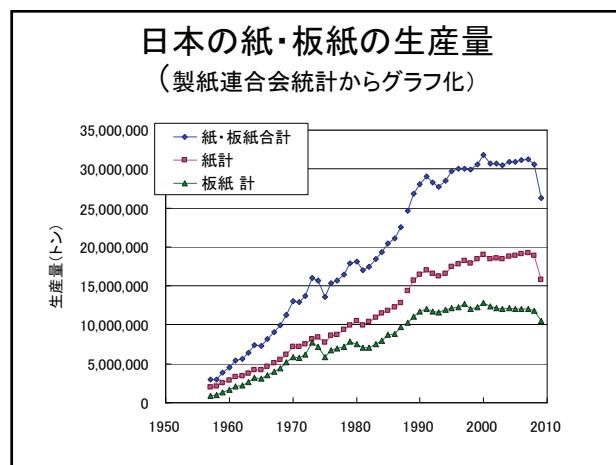
世界の紙・パルプ生産量 (パルプ) (2008) 世界のパルプ生産量



世界の紙・板紙1人当消費量順位 (kg/年)

①	ベルギー	335 344	⑦	モナコ	247 233
②	ルクセンブルク	315	⑧	日本	242 239
③	フィンランド	308 321	⑨	デンマーク	235
④	アメリカ	300 374	⑩	ドイツ	141
⑤	スウェーデン	268 245			
⑥	オーストリア	249			

■ 2003年の統計 • 1999年の統計



紙の用途(どんな用途があるかメモ)



紙の用途

- 書籍
- 手紙
- 新聞
- 紙器(箱)
- 包装紙
- 段ボール
- 伝票
- 情報用紙
- 筆記用紙
- 雑誌
- 絵画・芸術
- 写真
- 申請書
- 卒業証書
- 婚姻証明書
- テイッシュペーパー
- ペーパータオル
- 切符
- ノート